

平和宣言

被爆・戦後80年の歳月がながれた今この時も、平和がいかに尊いものであるかをわたしたちは感じずにはいられません。それは、今なお世界では紛争や戦争により多くのいのちがうばわれ、くらしがこわされ、明日への望みも持てない罪なき人々がたくさんいるからです。

核兵器廃絶への道は、まだまだ遠いのでしょうか。被爆者の立場から、世界へ向けて核兵器のない世界を実現するための努力、核兵器が二度と使われてはいけないという活動が評価された日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は世界にどううつったのでしょうか。

地球上のあらゆる国々が手を結び、助け合い、平和で安心して暮らすことのできる社会を築いていきたい。お互いを思いやる気持ち、様々な違いを寛容し相手を尊重しお互いが協力して仲良く生活できるそんな未来を願い、これからを担う子ども達にも平和について考えて実現してほしい。

そして「今を生きる私たちの役目」は、再び、戦火の日常を生きる時代にしてはいけない、その思いを誓い、平和憲法のもと80年続いた不戦を「日本は平和」だと誇れるように、これからの世代にバトンをつないでいきます。

日本生活協同組合連合会、初代会長 賀川豊彦氏は、設立宣言で「平和とより良き生活こそ生活協同組合の理想」と述べ、「平和とより良い生活」をスローガンに、全国の生協で平和への願いや思いを広げる取り組みが始まりました。鳥取県生協では、これまでもこれからも、平和の取り組みを進めることで想いを共有し継承する活動を続けます。平和なくして安心したくらしをおくることはできません。

これからも、世界平和を願い、ともに歩みを進めていきましょう。

2025年6月11日

鳥取県生協 第75回通常総代会